

会報

茨城

IBARAKI

76

2022 JUL

The Bulletin of Ibaraki
Association of
Architectural Firms

<https://www.i-jk.org>

第35回

茨城建築 文化賞



01 報告 ● 令和4年度
通常総会開催される
通常事業計画／永年会員表彰／新役員一覧

07 報告 ● 第35回
茨城建築文化賞

いばらき幼稚園／結城市庁舎
歴史と未来の交流館／茨城・常陸大宮の家
ひたちなか市立 美乃浜学園／佐藤邸 新築工事
水戸笠原の家／ハコフネ
JINS 水戸元吉田店
常磐線羽鳥駅橋上化及び東西自由通路新設
日立建機株式会社 土浦工場 事務管理棟
至誠館／平磯保育園／蔵図書館

16 報告 ● 第35回 茨城建築文化賞の講評
茨城大学教授 熊澤 貴之 氏

18 報告 ● 第8回
茨城学生建築展が開催されました

20 連載 第1回(計2回)
木構造デザインの可能性

24 報告 ● 理事会・委員会だより

26 報告 ● 新会員紹介／編集後記

会報
茨城

76
2022 JUL

題字／大井川 和彦(茨城県知事)

一般社団法人 茨城県建築士事務所協会
2022年7月 第76号

<https://www.i-jk.org>

表紙の写真



表紙の写真／茨城建築文化賞 知事賞
いばらき幼稚園
裏表紙の写真／いばらき幼稚園

報告

通常総会
日時／令和4年5月20日(金)
会場／ホテル テラス・ザ・ガーデン水戸
報告／総務委員会副委員長 横須賀 孝

令和4年度通常総会開催される

去る5月20日(金)定刻の午後1時30分に、司会の進行により、ホテル テラス・ザ・ガーデン水戸に於いて定足数を満たしたため、令和4年度通常総会が有効に成立する旨が告げられ、小室晶副会長の開会の辞により総会が開会されました。その様子を報告いたします。



令和4年度通常総会が、去る5月20日(金)、ホテル テラス・ザ・ガーデン水戸に於いて開催されました。

今年の総会もコロナ禍での開催という事で、昨年引き続き縮小開催の様式がとられました。総会の来賓としましては、茨城県知事 大井川和彦氏、衆議院議員(協会最高顧問) 梶山弘志氏、秘書 宇留野洋治氏、茨城県議会議員(協会顧問) 海野透氏、茨城県議会議員(協会顧問) 西野一氏、他、例年に比べると人数を絞った形でご臨席を頂きました。

定刻の午後1時30分に、司会の進行により、正会員441事務所のうち出席55、委任状182、合計237となり、定足数を満たしたため、令和4年度通常総会が有効に成立する旨が告げられ、小室晶副会長の開会の辞により総会が開会されました。

出席者ご紹介



舟幡会長



茨城県知事
大井川 和彦 氏



茨城県議会議員
海野 透 氏



茨城県議会議員
西野 一 氏



永年会員表彰を受ける
住友林業(株)水戸支店一級建築士事務所



永年会員表彰を受ける(株)菊正塗装店

始めに、舟幡健会長が主催者を代表して、行政機関や関連諸団体、及び会員各位の日頃のご支援やご協力に対し感謝の意を述べました。来賓紹介の後、大井川和彦 茨城県知事よりご祝辞を頂いた後に表彰式が行われ、永年会員表彰では正会員5社、賛助会員5社に、舟幡会長より感謝状と共に記念品が贈呈され、また優良鉄筋施工事業者認定書授与式では茨城県鉄筋業協同組合理事長へ認定書が授与されました。

この後、「第35回茨城建築文化賞」の表彰式が行われ、最優秀賞である茨城県知事賞に輝いた株式会社本瀬斎田建築設計事務所 いばらき幼稚園をはじめ、県議会議員賞の株式会社久米設計 結城市庁舎、県土木部長賞の株式会社梓設計 歴史と未来の交流館、茨城新聞社賞の株式会社中山大輔建築設計事務所 茨城・常陸大宮の家、茨城県建築士事務所協会賞の株式会社相和技術研究所 ひたちなか市立美乃浜学園、そのほか住宅部門優秀賞3点、入賞5点、リフォーム賞1点に対し賞状と記念品が授与され、審査委員長の茨城大学教授 熊澤貴之氏から審査経過と講評が発表されました。

その後、来賓の皆様からご祝辞を頂いた後に議事に入りました。

定款第22条の規定により舟幡会長が議長となり、第1号議案「令和3年度事業報告並びに収支決算承認の件」、第2号議案「令和4年度事業計画並びに収支予算承認の件」

が審議の上、原案通り可決されました。また第3号議案「令和4・5年度役員選任の件」につきましても可決されました。その後、新しい役員による新理事会の結果、舟幡健会長、根本洋一朗副会長、小室晶副会長、河野正博副会長、が選出されました。全ての審議が終了し、根本洋一朗副会長の閉会の辞により無事総会が終了しました。

例年、通常総会の後に開催される懇親会につきましては、本年もコロナ禍の影響により自粛という形をとって、開催されませんでした。

なお通常総会後に、令和4年度茨城県建築士事務所政経研究会通常総会も開催され、無事終了いたしましたことを併せてご報告いたします。

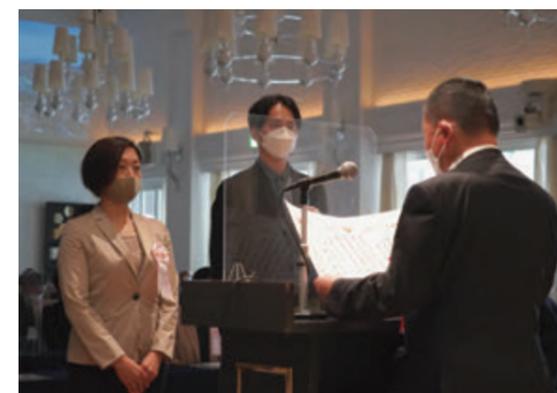
本年度もコロナ禍での縮小開催という事で、出席者を絞ってソーシャルディスタンスを保ちつつ、時短開催という形をとるなど工夫を凝らした上で、開催する事が出来ました。出席者を絞った形での開催にご協力いただいた会員の皆様をはじめ、会場となったホテル テラス・ザ・ガーデン水戸の皆様にも改めて感謝申し上げます。

来年度の総会では、コロナ禍も収まった上で、例年通りの総会を開催し、懇親会で皆様と懇親を深められることを願っております。

最後になりましたが、会員皆様のご協力にご支援に感謝を申し上げ、通常総会の報告とさせていただきます。



「茨城県知事賞」一級建築士事務所株式会社本瀬斎田建築設計事務所



「茨城県議会議員賞」株式会社久米設計



「土木部長賞」株式会社梓設計



「茨城新聞社賞」株式会社中山大輔建築設計事務所



「県建築士事務所協会賞」株式会社相和技術研究所



茨城大学教授 熊澤貴之氏の審査結果と講評



会長より新役員(副会長・専務理事・常務理事)の紹介

令和4年度事業計画

本協会設立の趣旨に基づき、建築士事務所の社会的使命と責任を自覚して、1級・2級・木造建築士事務所、また専業・兼業建築士事務所の別なく、広く県内建築士事務所の経営改善と建築技術の向上をはかるとともに、互いに交流を積極的にを行い、その団結を深めることにより、本建築設計・工事監理業務の発展に寄与し、ひいては建築文化の向上と地域社会の発展を図るため次のとおり事業を行う。

1. 県民の居住水準の向上と建築関連業界の活性化を図るため、各種事業の情報を提供する。

- (1) 住まいの無料相談会
毎月第1・3土曜日、各自治体等の相談会
- (2) 耐震診断・耐震改修相談窓口 随時
- (3) 既存住宅状況調査に係る相談窓口 随時

2. 行政情報の適正かつ効率的な伝達に寄与するため、各種の情報を提供する。

- (1) 建築行政会議の開催
- (2) 特殊建築物等定期報告の促進指導
- (3) 完了検査の推進

3. 優れた建築物や、まちなみの完成に貢献した建築設計事務所を表彰する。

第36回茨城建築文化賞表彰事業

4. 県内の建築系学科を有する学校の生徒が考案した、優れた建築物や都市設計等を表彰する。

第9回茨城学生建築展

5. 建築士事務所の業務及び建築技術の進歩向上に資するため、広く県内建築士事務所その他建築関係者を対象に研修会・講習会を開催する。

- (1) 建築士事務所の管理講習会・開設者研修会 2回
- (2) 管理建築士資格講習 1回
- (3) 建築士定期講習 4回
- (4) 明日を創る建築講座 1回
- (5) スキルアップセミナー 1回
- (6) その他 講習会 随時

6. 広く県内建築士事務所の業務改善・向上に資するための事業を推進する。

- (1) 茨城県よりの委託事業
 - ・令和4年度建築行政指導委託業務
設計等の業務に関する報告書の提出及び定期講習受講の案内を、茨城県内の建築士事務所に配布
 - ・令和4年度住宅耐震・リフォームアドバイザー養成事業業務委託
「住宅耐震・リフォームアドバイザー」を養成するための講習会の開催
 - ・令和4年度設計等の業務に関する報告書受理等業務委託

- (2) 国土交通省告示第98号(建築設計・工事監理業務報酬基準)の普及の要望
- (3) 建築設計・工事監理業務報酬基準の調査
- (4) 公共団体からの設計委託業務に関する実態調査等
- (5) 茨城標準単価表の作成
- (6) 建築士事務所登録更新該当者への通知
- (7) 賛助会員との関わりを考える集い実施
- (8) 新規事業開発のための調査研究
- (9) リフォームアドバイザー派遣事業の実施
- (10) 業務書式、図書等の販売

7. 建築士事務所の業務の円滑化及び建築技術の向上に役立つ各種情報や資料を収集し、提供する。

- (1) 業務報酬算定基準の作成・公開

8. 広く県内に本協会活動をPRするとともに会員相互の情報交換を行う。

- (1) 会報茨城の発刊
- (2) 県民ユーザーへの新聞広報等
- (3) 建築士事務所キャンペーン
- (4) ホームページの作成・更新

9. 会員相互の親睦及び福利厚生のための事業を行う。

- (1) 懇親会の開催
 - ・賛助会員との懇親会(合同納涼会)
 - ・年末懇親会
- (2) 親睦ゴルフ大会の開催
- (3) 同好会の支援(ゴルフ)
- (4) 建築視察研修の開催
- (5) 福利厚生事業の普及・促進

10. 会員の増強を図るための運動を行う。

11. 指定事務所登録機関の業務を行う。

12. その他県内建築士事務所の建築設計・工事監理業務の発展に寄与するための事業を行う。

令和4年度通常総会 永年会員表彰一覧

【正会員】

- (株)折本工業一級建築士事務所
- (有)エステイエス設計
- (株)伊藤総合設計
久野建築設計室
- 住友林業(株)水戸支店一級建築士事務所

【賛助会員】

- (株)千代田興業
- 清和工業(株)
- 能美防災(株)茨城支社
- (株)菊正塗装店
- (株)萬道総業

令和4・5年度 名誉会員・相談役・役員一覧

- 終身名誉会長 柴 和 伸 (株)柴建築設計事務所
- 名誉会長 横須賀 満夫 (株)横須賀満夫建築設計事務所
- 相談役 山田 博通 (株)桜設計事務所
- 田中 健一 (株)中建築設計事務所
- 増山 栄 (株)増山栄建築設計事務所
- 青山 立美 (株)青山建築設計事務所
- 会長 舟 幡 健 (株)バル総合設計
- 副会長 根本 洋一朗 (株)根本建築設計事務所
- 小室 晶 (有)汎連合設計
- 河野 正博 (株)河野正博建築設計事務所
- 専務理事 永井 一男 (一社)茨城県建築士事務所協会
- 常務理事 小川 憲一 (株)戸頃建築設計事務所
- 小沼 隆志 (株)玄設計一級建築士事務所
- 渡辺 章夫 (有)ムーブ建築設計事務所
- 大山 早嗣 (株)大山都市建築設計
- 宮本 久 (有)宮本建築アトリエ
- 相澤 晴夫 (株)相澤建築設計事務所
- 鎌田 富士夫 (株)鎌田建築アトリエ
- 理事 井坂 光宏 (株)ヤマト建築設計事務所
- 長塚 威 (有)長塚建築設計事務所

- 理事 飯島 洋省 (株)andHAND建築設計事務所
- 坪和 昭男 坪和建築設計事務所
- 橋本 照雄 橋本建築設計事務所
- 塙 万治 ハナワ建築設計事務所(株)
- 塙 秀之 (有)コウシュウ設計
- 軽部 守彦 軽部建築設計事務所
- 渡辺 昌弘 (有)ミワ総合設計
- 富田 清一 セイショウ建築事務所
- 和田 淳一 淳設計工房
- 山田 一博 (株)桜設計事務所
- 上久保博隆 (株)匠建築研究室
- 小坪 真司 (同)建築工房Koakutsu
- 稲沼 修二 稲沼建築設計
- 沼田 弘次 M'sBOX建築設計事務所
- 金澤 重雄 (株)カナザワ建築設計事務所
- 本澤 幸一 (有)AkH建築設計室
- 若柳 綾子 (株)若柳建築事務所
- 小谷野 栄次 結設計事務所
- 浅野 祐一郎 (有)浅野建築設計事務所
- 監事 高槻 一雄 (有)高槻建築設計事務所
- 大内 賢一 (株)第一設計
- 水口 二良 水口・野村法律事務所

設計・監理



株式会社 須藤隆建築設計事務所

代表取締役 **須藤 とく**

〒300-0034
茨城県土浦市港町 1-7-23 ホープビル 9F
TEL.029-822-4362(代) FAX.029-822-4394



「人間のために」夢を創り続ける
一級建築士事務所

株式会社 相和技術研究所

代表取締役 平野 尚久 東日本統括 佐々木 守 所長 吉岡 和昭

本社 / 〒141-0021 東京都品川区上大崎 2-18-1 TEL03-5740-6711
千葉事務所 / 〒275-0016 千葉県習志野市津田沼 1-15-11 TEL047-479-1361



三上建築事務所
Kazuhiko Mashiko & MIKAMI Architects

水戸オフィス 〒310-0062
茨城県水戸市大町 3-4-36 大町ビル 2 階
3-4-36 Ohmachi, Mito-city, Ibaraki
TEL +81-(0)29-224-0606 FAX +81-(0)29-226-3778

東京オフィス 〒110-0015
東京都台東区東上野 1-1-1 O&K1.1.1ビル 4 階
O&K1.1.1, 1-1-1 Higashiueno, Taito-ku, Tokyo
TEL +81-(0)3-5817-8184 FAX +81-(0)3-5817-8194

九州オフィス 〒840-0801
佐賀県佐賀市駅前中央 3-14-31 サンフィールド佐賀 401 号
Sunfield Saga, 401, 3-14-31 Ekimaechuo, Saga-city, Saga
TEL +81-(0)952-37-7630 FAX +81-(0)50-3730-7134

TOTAL DESIGN SOLUTION FIRM

KUME SEKKEI

久米設計

代表取締役社長 藤澤 進

〒135-8567 東京都江東区潮見 2-1-22 TEL03-5632-7811 東京 札幌 東北 横浜 名古屋 京都 大阪 九州 沖縄 上海 ハノイ ホーチミン シンガポール

 株式会社 JR東日本建築設計

<http://www.jred.co.jp>



茨城県知事賞[最優秀賞] いばらき幼稚園
●一級建築士事務所 株式会社 本瀬齋田建築設計事務所

第35回
茨城
建築
文化賞

協賛 / (一財)茨城県建築センター (一社)茨城県建築士会
(一社)茨城県建設業協会 (一社)茨城県設備設計事務所協会
後援 / 茨城県 (株)茨城新聞社 (株)日本工業経済新聞社
(株)日本建設新聞 (株)建設未来通信社



茨城県知事賞 [最優秀賞] いばらき幼稚園

- 一級建築士事務所 株式会社 本瀬齋田建築設計事務所
住所／富山県富山市中央通り1-69-4F 電話／076-461-3064
- 協力事務所 構造／株式会社 ラケンネー一級建築士事務所 電気／株式会社 祥設計 関東事務所
機械／株式会社 祥設計 北陸事務所 その他／有限会社 汎連合設計
- 建物所在地／茨城県東茨城郡茨城町大字駒場491-1 ●建物用途／幼保連携型認定こども園
- 構造／木造 ●建築面積／910.25㎡ ●延床面積／802.61㎡



子どもたちの原風景となるこども園

いばらき幼稚園は今年で開園60周年を迎え、長らく地域の教育・保育を担ってきました。新園舎の敷地はこの地域に広がるゆったりとした畑の中にあり、周りには林やビニールハウスが点在しています。近隣の小学校には卒園生も通っています。そんな立地のこども園が、子どもたちの原風景として豊かな地元の風景の一部となるよう、敷地の緩やかな斜面に屋根をゆったりと這わせ、農業施設のような大らかなスケール

感を持ったたたずまいとしました。

カーブを描いた屋根の下は、子どもが走り回れる長くて広い廊下のような、ひとつながりの空間です。また、内外をまとった場所として使えるよう、園庭に面してデッキを設け、木製のテラス戸は片引き戸として、全面的に開放できます。柱と一体となったベンチや地形に沿った段差、隣接する足洗い場を活かして、野外でお弁当を食べたり、いろいろな遊び方ができるようにしました。



茨城県議会議長賞 [優秀賞] 結城市庁舎

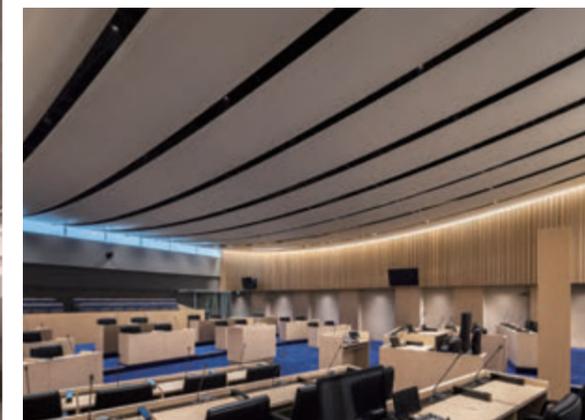
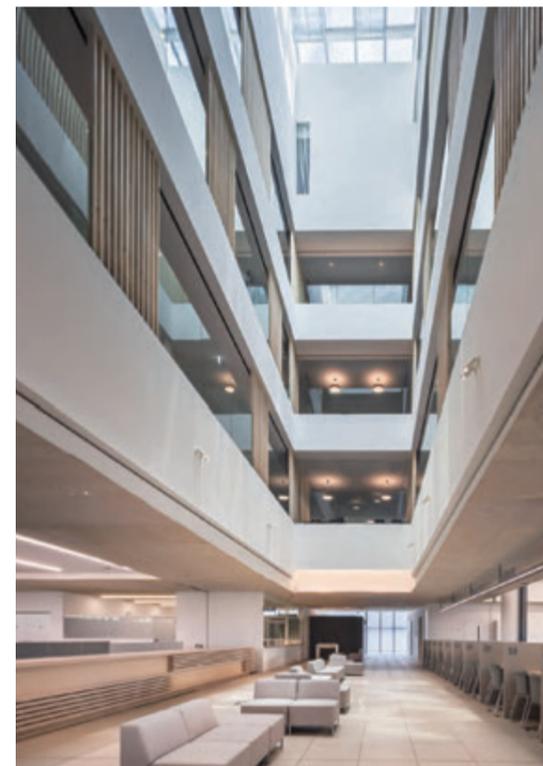
- 株式会社 久米設計 住所／東京都江東区潮見2丁目1-22 久米設計本社ビル 電話／070-1551-9794
- 協力事務所 構造／河合正理、花田達矢、山口春樹 電気／町野陽一郎、前博之、小林愛佳 機械／伊藤学、田中美穂
- 建物所在地／茨城県結城市中央町2丁目3 ●建物用途／市庁舎(事務所) ●構造／鉄骨造 ●建築面積／3,673.04㎡ ●延床面積／10,707.84㎡

まちの顔となる庁舎であるとともに 災害時にも継続可能な環境配慮型庁舎を実現

結城市には、見世蔵等の歴史的な町並みや、重要無形文化財である結城紬があり、まちの重要な文化として市民から大切に育まれている。新たな地に立つ新庁舎では、市の文化である結城紬をモチーフとし、積み重ねてきた歴史の継承とのまちの文化の表象を行った。特徴的な大きく弧を描く1階の屋根は、市民を迎え入れる「まちの顔となる庁舎」となると共に、天井高さの変化により市民の様々な居場所となる。屋根架構ブレース機能を兼ねた木合板天井や、吹き抜けに面したホルバーにより、カーボンニュートラル社会の実現に向けた「木質化庁舎」を目指した。さら

に、基礎免震振や執務室の無天井化、議場の膜天井化を行い、安全性に配慮した「災害時にも継続可能な庁舎」とすると共に、感染症対策にもなる吹抜けを介した重力換気や、井水利用した

躯体蓄熱型の天井輻射冷暖房による高効率な空調形式など自然エネルギーを利用した「環境配慮型庁舎」を実現した。





土木部長賞 [優秀賞] 歴史と未来の交流館

●株式会社 梓設計 住所/東京都大田区羽田旭町10-11MFIP羽田3F 電話/03-5735-3214
●協力事務所 その他/(株)トータルメディア開発研究所 ●建物所在地/茨城県那珂郡東海村村松768番地38 ●建物用途/博物館
●構造/RC一部S造 ●建築面積/2,663.99㎡ ●延床面積/2,835.58㎡

展示から文化活動へと促す空間構成を実現した 世代を超えた交流の場

本計画は、博物館と青少年活動施設に複合施設です。むら全体を博物館と捉えた『まるごと博物館事業』と連動した活動で繋がる「生きた展示」を実現し、開かれた展示室は学びと発表の場でもあり、文教エリアの教育施設や図書館との連携した東海村の生涯学習拠点です。村の中心に位置する当施設の屋外広場や縁側は、周辺の図書館や文化ホール、学校などの帰りに気軽に立ち寄ることができる村民の憩いの場でもあります。

以下の3つのコンセプトを軸に、展示か



ら文化活動へと促す空間構成とし、世代を超えた交流の場を実現しています。
1. 展示室と多目的室、屋内と屋外を南北方向の活動で連携する「敷地全体を活動でつなく構成」
2. むら全体を博物館と捉え、収蔵・展示

から村の魅力をもみんなで発見し、展示する開かれた「生きた展示空間」
3. 博物館を保存するRC造の蔵と縁側空間を軽やかな活動の場を鉄骨造の大屋根で覆い、「活動と展示保存を実現する混構造」



[県建築士事務所協会賞] ひたちなか市立 美乃浜学園

●株式会社 相和技術研究所 住所/東京都品川区上大崎2丁目18番1号 電話/03-5740-6711
●建物所在地/茨城県ひたちなか市磯崎町5135番地 ●建物用途/義務教育学校
●構造/RC造一部S造 ●建築面積/10,355.54㎡ ●延床面積/14,941.06㎡

駅からの動線と居心地の良い空間を考えた義務教育学校

美乃浜学園はひたちなか市の太平洋側に位置する、平磯・磯崎・阿字ヶ浦地区にある、3つの小学校と2つの中学校を統合した、市内初となる施設一体型の義務教育学校です。建設地は、統合する5つの小・中学校のほぼ中心で、ひたちなか海浜鉄道湊線に近接する場所が選定されました。

配置計画は、敷地の南側に共用グラウンドを取り、その北側に校舎棟、西側に屋内運動場棟とプール棟を配置する構成としました。電車通学の児童・生徒が多いため、駅からのアプローチをメインの動線と考え、敷地北西角に

正門を設けました。正門の先に広がるエントランス広場は、地域交流の場としての活用と共に、児童・生徒を昇降口へと誘導します。校舎棟の中央にある交流広場は、上履きで出られる人工芝張りの屋外空間で、休み時間の遊び場

としての機能や、学童保育時には指導員からも目の届く、安全な遊び場として活用できます。内装は木質化を可能な限り推進し、暖かみのある居心地の良い空間づくりを行いました。



茨城新聞社賞 [優秀賞] 茨城・常陸大宮の家

●株式会社 中山大輔建築設計事務所 住所/栃木県宇都宮市インターパーク3-3-7-603 電話/028-902-8353
●協力事務所 構造/小林建築構造設計室 ●建物用途/一戸建住宅
●構造/木造 ●建築面積/119.13㎡ ●延床面積/151.25㎡

この場所に建つ意味と価値観を感じ 長く次世代まで継いで欲しいとの願いを込めた

のどかな田園風景の広がる自然豊かなこの地に、農家住宅の敷地内に子世帯が孫とともに戻ることから計画が始まった。この地域も残念ながら少しずつ過疎化が進み人が減っていき、また美しい田舎の風景も少しずつ無くなってきている。そこで、まわりの自然環境や景色に溶け込むように建ち、この場所に建つ意味と価値を感じられ、それが

長く次の世代まで継いで欲しいとの願いを込めながら設計をした。

外観は、おおらかな屋根の下に、南側に大開口を設けて太陽の恵みを十分に受け、2階建てだが低く佇むように立っている。室内は、杉の化粧垂木が連続して並び、桧の床、栗の造作材など、地場でとれる無垢材を多用している。壁は漆喰壁を使い木とのバランスをとっている。メインの開口部には隠し框にした木製建具を使用して、木組みの美しさを際立たせている。



[住宅部門優秀賞] 佐藤邸新築工事

●株式会社 直井建築設計事務所 住所/東京都千代田区神田駿河台3-1-9日光ビル2階A室 電話/03-6273-7967
●協力事務所 構造/すわ製作所NAWAKENJI-M株式会社
●建物用途/個人住宅 ●構造/木造 ●建築面積/181.05㎡ ●延床面積/156.54㎡

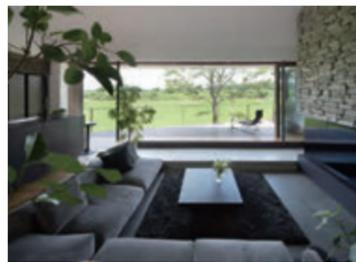
おおらかさと静寂の両立を目指した 持続可能な住まい

自然は作為的でなくそれ自身で美しい。ここでの建築はその自然と等価に溶け込むような、おおらかさと静寂の両立を目指している。周囲の自然に溶け込み、風景の一部になるような美しい佇まい、一方でその美しさは造園家である施主が創造する第二の自然(庭)を引き立たせる。

施主によってつくられた小川の流れる前庭は住宅街からつくばの自然へと導く大切な役割を担っている。敷地の一部は傾斜地だったため、必要な建築面積を確保するには擁壁をつくり、造

成しなければならなかった。その条件を逆手に取り、擁壁の代わりに基礎からはね出しの形状で床面を空中に浮かせる断面計画とした。生活空間やバルコニーを地面から浮かせ開放的にすることで遠くに見える田んぼや森に意識が向かい、自然の一部として溶け込んでいる感覚が得られる。

環境に寄り添って立つこの住まいは、今後も自然と共に趣を深め、時を経てもその価値を失わない持続可能な住まいとなるだろう。





[住宅部門優秀賞] 水戸笠原の家

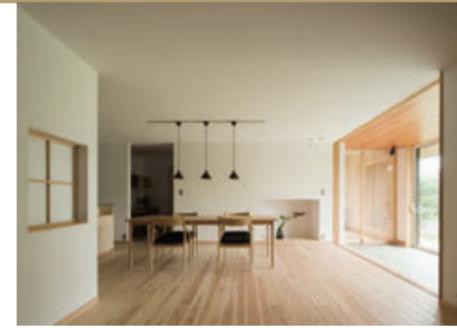
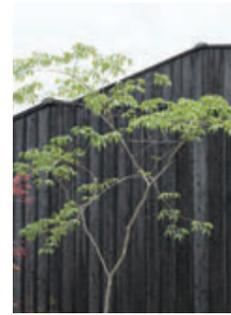
●株式会社 サンハウス 一級建築士事務所 住所/茨城県水戸市見和2-547-3 電話/029-257-6566
●協力事務所 構造/株式会社エヌ・シー・エヌ 一級建築士事務所
●建物用途/一戸建ての住宅 ●構造/木造 ●建築面積/147.40㎡ ●延床面積/200.39㎡

庭を含め「おうち時間」を愉しめる高断熱高气密住宅

夫婦、4人の子供、親との多世帯で暮らせる住まい。生活を営む内部空間と庭、そして公共の外部空間をいかにして結び、閉ざすかを考え設計した。延床面積60坪を超えるが、シンプルな構成とし、高さを抑えて周辺への配慮をした。道路や隣地月極駐車場から、主庭や室内を小屋や板塀で緩やかに仕切り、主庭と室内とを繋ぐ大開口部は、昼夜問わずにカーテン等で閉め切らずに過ごせるようにした。一方、植栽は、行き交う方々へも感じられるように計画した。Withコロナのなか、ご家族のお気持ちに寄り添いながら設計し、庭を含

め「おうち時間」を愉しめ、ご家族全員のリモートワークやリモート授業への対応を可能とした。外壁には焼杉を用い、素材感のある「木の家」の様相を表現し、内装には漆喰や県産材の杉板を用

いて、地域性に配慮した。許容応力度計算を行い耐震等級3を確保した。2050年カーボンニュートラルに向けて付加断熱を施した高断熱高气密住宅で、ルームエアコン1台で暮らせている。



[入選] JINS 水戸元吉田店

●平居直設計スタジオ 住所/京都市中京区手洗水町647トキワビル4F-C 電話/090-5055-6814
●協力事務所 構造/エス・キューブ・アソシエイツ ●建物所在地/茨城県水戸市元吉田町字岡崎1030番6
●建物用途/物販店舗 ●構造/鉄骨造一部木造 ●建築面積/235.59㎡ ●延床面積/181.87㎡

周囲に埋没せず、 店内で過ごしても外の環境を感じやすい空間

敷地は大規模商業エリアの一角に位置し、比較的ゆっくりとした車の動きや広大な青空駐車場からの徒歩客の絵が想像できる場所である。周囲の店舗は平屋ながらも7、8m級の高さの建物が想定されるなかで、それらに埋没せず、且つ車・人のスピードに寄り添う形態として、片流れ屋根をベースにした形態とした。

妻面をファサードとし、ヒューマンなスケールに近づく水下側を店内への入口に、水上側の建物内外を貫通する大きな壁面は光や季節の移ろいを感じられ

るような面とした。ファサードは北面になるため、日中は店前に大きな影を落とすが、大きく跳ね出した屋根に開口を設けて影の中に光が差し込むようにした。軒差の植栽帯は、付近を流れる逆川の緑地を延長させるようにイメージで計画している。その他ボリュームや壁を内外貫通させることでガラスの存在感を低減させ、店内で過ごしていても外の環境を感じやすいような店内のみで完結しない空間を目指した。



[住宅部門優秀賞] ハコフネ

●一級建築士事務所 group-scoop 住所/福岡県大野城市筒井2-21-2F 電話/092-287-3996
●協力事務所 構造/問藤構造設計事務所 その他/空調設計:富士環境システム株式会社、植栽計画:八進緑産株式会社
●建物用途/専用住宅 ●構造/木造 ●建築面積/92.49㎡ ●延床面積/154.27㎡

複数の共生生活を同時に許容する柔軟な器

子世帯(夫婦+四姉妹)、親世帯(妻の両親+妹)、計9名の棲まいである。高齢の両親と難病で寝たきりの妹の療養の為、東京都心から日立に居を移し、これを機に二世帯同居を開始。「妹を中心に家族が集まる楽しい家になりたい」という依頼であった。闘病中の妹、高齢の父、介護で多忙な母と妻、移住に伴い在宅ワークとなる夫、元気いっぱい

の四姉妹。大家族、介護、仕事、遊びという複数の共生生活を同時に許容する柔軟な器が求められた。この要望に対し、余計な隔てのない、適度に曖昧な境界と居場所(=きっかけ)だけを備えた大きな気積を用意した。総ヒノキ仕上げの半屋外的な自由な気積が功を奏し、竣工直後より予期せず発生したコロナ禍の自粛生活においてもグランピング感覚のストレスフリーな生活を可能とした。日立で多見する工場建築からインスピレーションをうけた切妻の建物は、現代版合掌造りのようでもあり、隣地の工場や住宅とも程よく調和する。



[入選] 常磐線羽鳥駅橋上化及び東西自由通路新設

●東日本旅客鉄道株式会社水戸一級建築士事務所 住所/茨城県水戸市三の丸1丁目4番47号 電話/029-227-2143
●協力事務所 構造・電気・機械/株式会社 JR東日本建築設計 ●建物所在地/茨城県小美玉市羽鳥字東平2663-1、2663-58、5688-2、2688-5、2719-3、2719-4、2719-5、2719-6
●建物用途/駅舎・自由通路 ●構造/鉄骨造 ●建築面積/906.96㎡ ●延床面積/1,075.92㎡

大きく開放的なデザインが他にない個性となっている 『まちなか交流拠点』をめざした施設

小美玉市は「まちづくりの総合計画」の中で、市内唯一の鉄道駅である羽鳥駅を『まちなか交流拠点』として生活基盤の整備や良好な景観形成などによる安全・安心・快適な住環境整備を掲げていた。総合計画の理念を受け、自由通路新設、駅のバリアフリー化整備を進める事で市民生活のより一層の充実を目指し、街西側に広がる歴史文化が多く残る地域と、東側に広がる新しい住宅地との調和を図りながら、地域に開かれた人と人との交流が生まれる空間づくりを目指した。

鳥が大きく羽ばたく外観が羽鳥駅のアイデンティティーとし、大きく開放的なデザインが他にない個性となっている。特徴ある大きな庇を活かし、間接光の柔らかい明りで包まれた空間が優しく燈された行灯のようになり、人々を迎え入れる空間を演出している。また、分かりやすい施設配置、自由通路の視認性を高める形状とすることで、安心・安全に利用できる施設とした。





[入選]

日立建機株式会社 土浦工場 事務管理棟

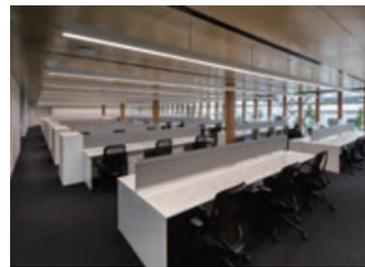
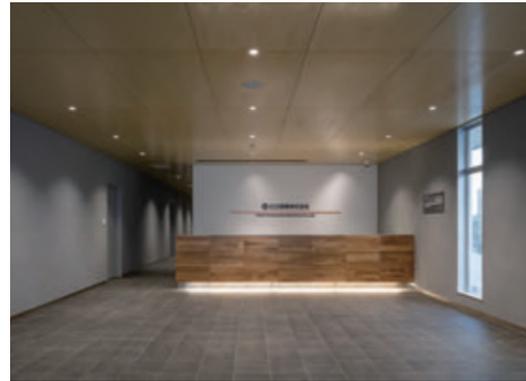
- 株式会社 日立建設設計 住所/東京都千代田区内神田3-11-7 電話/070-2198-6497
- 建物所在地/茨城県土浦市神立町650番地 ●建物用途/事務所
- 構造/木造 ●建築面積/2,802.47㎡ ●延床面積/5,468.01㎡

快適性、多様性、コミュニケーションをキーワードにした空間

延床面積5,000㎡を超える木造2階建ての大規模木造オフィスです。中央コア部分は耐火建築物(90分耐火)南北棟は準耐火建築物(45分準耐火)であり、木造在来軸組工法を採用。柱・梁は燃えしろ設計として現し、執務エリアや吹抜部には積極的に自然採光や自然換気が可能な環境配慮型のオフィスです。

敷地は、工場の一角に位置しています。前面道路に面した企業の顔となる場所である為、新しい顔づくりにふさわしい施設設計画としています。外装

材にはアルミパネル材等を採用、軒先と天井材にはシナ合板材を用いて高さを揃え、内外に繋がりのある意匠デザインとし、工場群と周囲の景観に溶け込む施設設計画としました。従業員によるワークショップの意見により抽出した「快適性、多様性、コミュニケーション」のキーワードにより、施設設計画を実現しています。木造らしい温かみのあるつくりとそれに合う塗装色の壁を採用することで、心地よい空間づくりを目指しました。



[入選]

平磯保育園

- 有限会社 吉田建築計画事務所 住所/茨城県石岡市石岡1-1-8 電話/0299-56-3246
- 協力事務所 構造/株式会社 シェルター建築設計事務所 電気/軍司設備設計事務所 機械/白土設備設計事務所
- 建物所在地/茨城県ひたちなか市平磯町5042 ●建物用途/保育園 ●構造/木造 ●建築面積/787.53㎡(屋外倉庫除) ●延床面積/1,170.59㎡(屋外倉庫除)

この地で産出されるアンモナイトをモチーフにした園舎デザイン

計画地は東側に白亜紀層が現れる平磯海岸が眼下に見え、一面に広がる畑の中に湊線が走る姿が時折見えます。また開園に先立ち、寄り駅となる「美乃原学園駅」が開業しました。創立80年を期に建て替えとなり、新たな子育ての拠点づくりが求められました。この地で産出されるアンモナイトをモチーフに、過去(歴史)と未来をつなぐ『らせん』を園舎デザインの骨子としました。園舎は木造の準耐火建築物。造作材、建具材、幼児用の椅子・机を県産材(杉・檜)で作りました。恵まれた自然環境を積極的に取り込むために、南側

に弧を描いた幅3.7mの縁側の空間を設け、その先に園庭を見守るようにテラスを配置しました。2階には海が見えるルーフトラスを設け、プール遊びやグラウンピングも楽しめる大屋根の半屋外空間を創出しました。コロナ禍の今、給食

の場にも活用。三密を避けた給食は子どもたち及び先生方のストレスを軽減し、のびのびと食事を楽しんでいます。



[入選] 至誠館

- 株式会社 三上建築事務所 住所/茨城県水戸市大町3丁目4番36号 電話/029-224-0606
- 協力事務所 電気/岩坂設備設計事務所 機械/NASファミリーデザイン室 施工/清水建設株式会社 関東支社
- 建物所在地/茨城県土浦市真壁4丁目2354番 ●建物用途/寄宿舎(社員寮) ●構造/RC造一部S造 ●建築面積/884.47㎡ ●延床面積/1,484.44㎡

企業の比類なき品格が醸し出されている社員寮

至誠館は県内有数の企業の社員寮である。外国人、シングルマザー、障がいのある方も抱擁する、茨城県のリーディングカンパニーとしての品格の体現であり、会社で働きたいと思えるインセンティブとなる。敷地は交通量が多い国

道125号に面する奥行きをもつ土地である。L型の平面形状の建物の奥行方向の一辺に男子寮を、奥の一辺に女子寮を配置した。コンクリート打放しの壁が道路と平行に立ち、越境する2階部分が通行する車からのアイキャッチとなる。その2階部分が長手方向に浮遊し、サーフィスのアルミ製水平ルーバーが奥行を強調する。入口のコンクリート打放しの門扉には黒御影石の塊が挿入されている。刻まれた「至誠館」の文字は、社長の思いに応えた会長の筆である。そこに関彰商事という企業の比類なき品格が醸し出されている。



[リフォーム賞] 蔵図書館

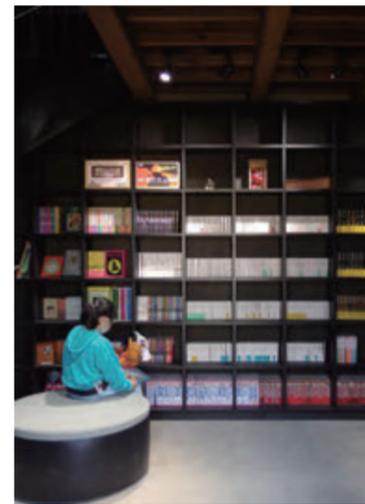
- 有限会社 吉田建築計画事務所 住所/茨城県石岡市石岡1-1-8 電話/0299-56-3246
- 協力事務所 構造/谷亮介構造設計室 ●建物所在地/茨城県かすみがうら市高倉92 ●建物用途/図書館
- 構造/木造 ●建築面積/21.55㎡ ●延床面積/28.95㎡

新たな地域コミュニティの場として貢献すべく蘇った古蔵

かすみがうら市高倉地区は、古い民家が多く残り昔ながらの景観を保っている歴史ある地域である。一方でこの地域は市の最北部に位置するため図書館等の文化施設から離れており、住民が集える交流の場や文化施設が不足していた。そこで地域の旧家に残る古蔵を、「かすみがうらまちづくりファンド助成事業」の採択を受けて、地域住民やサイクリストに開かれた小さな図

書館に改修した。

外壁は伝統的左官技術を有する職人によって漆喰塗となまこ壁を復元した。その一方で内部は整然とした本棚と螺旋階段の挿入によって重厚な蔵の既存部との対比を強調し、蔵特有の構造を活かしつつ新しい機能である図書空間の魅力に昇華させた。1階ではミニマルな水回りと薪ストーブ・ベンチの設えによって、小さな空間の中で自由にお茶や読書を楽しめる。こうして古蔵は、地域の景観と建物の文化的価値を受け継ぎながら、新たな地域コミュニティの場として貢献すべく蘇った。



審査委員 ※敬称略・順不同・役職は令和4年3月現在

熊澤貴之氏(国立大学法人茨城大学工学部都市システム工学科教授)

加藤研氏(国立大学法人筑波大学芸術系助教)／梅本舞子氏(国立大学法人筑波技術大学産業技術学部産業情報学科准教授)

山田陽一氏(茨城県土木部都市局建築指導課長)／小沼紀男氏((一財)茨城県建築センター理事長)

柴和伸氏((一社)茨城県建築士会会長)

茨城建築文化賞の講評

茨城大学 教授 熊澤 貴之

【第一次審査の経緯】

第35回の令和3年度は2022年3月25日に審査委員6名が出席して第一次審査を実施した。今年応募作品数は40点(内訳:大規模建築(12点)、小規模建築(12点)、住宅(14件)、リフォーム(2点))であり、小規模建築から大規模建築まで幅広い応募があった。

まず、審査委員が第一次審査会場に展示された全作品を審査した後、一人10票の持ち点で住宅、リフォーム、建築の大小、種別を問わずに投票した(第一回投票)。その結果、2票以上を獲得した作品(17作品)を評価し、さらに選別するために一人5票の持ち点で種別を問わず投票した(第二回投票)。その結果、1票以上を獲得した作品(14作品)を入選以上に選定し、獲得数の多かった5作品を第二次審査(現地審査)の対象とした。第二次審査をする5作品には住宅作品が含まれていた。そこで、この作品を住宅部門の最優秀賞に選定すると同時に第二次審査対象の候補とした。また住宅部門の優秀賞は、第二次審査対象とした住宅作品に次いで得票数が多かった住宅作品とした。尚、第二次審査の対象である5作品にはリフォーム作品は含まれていなかった。よってリフォーム賞においては、入選以上に選定された1作品とした。

【第二次審査の経緯】

4月23日に審査委員が5作品に対して現地で審査した後、第二次審査会場に移動した。まず審査員全員が、周辺環境条件との調和、現代的課題への提案、まちづくりへの貢献、構法・機能的な解決策、建築文化としての伝承と発信、美しいデザイン性等を主な評価軸として、5作品について講評した。その後、個々の賞に対して一人1票の持ち点で投票した。

その結果、「いばらき幼稚園」が最高得票数を集め知事賞に決まった。順次審査対象作品に対する投票を行い、「結城市庁舎」が議会議長賞に、「歴史と未来の交流館」が土木部長賞に、「茨城・常陸大宮の家」が茨城新聞社賞に、「ひたちなか市立美乃浜学園」が茨城県建築士事務所協会会長賞に決まった。

【現地審査に基づく入賞作品についての講評】

■知事賞／いばらき幼稚園 株式会社 本瀬斎田建築設計事務所

敷地周辺からこの建築を眺めると、傾斜する屋根が周辺の畑に溶け込んでおり、外観のフォルムと表層が周辺環境に調和していることを実感する。建物内に入ると、玄関に直結する遊戯室には木造トラスで架構が組まれたダイナミックな大空間が広がっている。遊戯室は保育室、事務室、玄関、調理室といった諸室の中央に位置しており、各諸室を見渡せる安心できる場になっている。この遊戯室と園庭に面したデッキの間の木製テラス戸は全面的に開放できるようになっており、内部空間と軒下の半屋外空間、さらには外部空間がひとつ続きに連結している。遊戯室に面する調理室や配膳スペースはF.L.が下げられ、子どもと食事の作り手の視

線が合うように繊細な配慮が見られる。また、緩やかに傾斜する敷地に合わせ、各保育室内部の段差や廊下の傾斜が子ども達の遊び心を刺激するように配置されており、子ども達がのびのびと育っていく様子が想像できる。木を生かした空間構成は木育という視点からも優れている。本建築は木造建築が持つ空間の可能性を大きく広げていることから、審査員の高い評価を獲得した。

■議会議長賞／結城市庁舎 株式会社 久米設計

大きく弧を描く屋根に覆われた1階の空間と2～5階の無天井の執務室が建物の中央に配置された吹き抜け空間を通してつながっている。職員や来庁者はこの吹き抜けから他階の様子をうかがえ、一体感を持つことが可能である。この吹き抜けのトップライトからインテリアゾーンへの採光、吹き抜けの周囲の木製ルーバーを介した重力換気、井水利用した躯体蓄熱壁の天井放射冷暖房など、環境配慮型庁舎になっている。

■土木部長賞／歴史と未来の交流館 株式会社 梓設計

芝生の広場に面した大屋根と軒下に広がる60メートルを超える長い縁側空間が最大の特徴である。この縁側空間と内部空間の境界は約60メートル続く透明なガラスで仕切られている。施設内部から芝生の広場を眺めると、縁側と芝生が連続し、緑のシークエンスを体験できる。また、軒先には樋がないため、内外部から見たときにすっきりと見え、大屋根を一層、強調できている。さらに雨の日には、軒先から雨粒が落水する様子を見ることができ、縁側や施設内からは落水表情を感じることができる。天候に応じて異なる様相を見せてくれる大屋根ファサードの表情は建築の新しい可能性を提示している。

■茨城新聞社賞／茨城・常陸大宮の家 株式会社 中山大輔建築設計事務所

敷地は市街地から離れた農家住宅の中にあり、中庭を囲うように、この住宅と母屋が建っている。農村風景の中の光と風がリビング・ダイニングの南面の開口部からやさしく住宅内部に入り込み、吹き抜け空間を通して、すべての部屋に届くようになっている。冬季においては南面に据えられた薪ストーブからの熱が各部屋を循環する。自然環境に親しむ田舎暮らしのスタイルが審査員より評価された。

■茨城県建築士事務所協会会長賞／ひたちなか市立美乃浜学園株式会社 相和技術研究所

三つの小学校と二つの中学校を統合した小中一貫校である。配置計画は敷地の南側に共用グラウンドを取り、その北側に校舎棟、西側に室内運動場棟とプール棟を配置する機能的な構成になっている。各教室は南面にバルコニーがあり、明るく風通しの良い学校となっている。

以上、本茨城建築文化賞は例年作品の規模、種類、依頼主、工事単価等を全く考慮せずに選定している。そこに選考の難しさはあるが、今後も本賞の趣旨に謳われた目的に叶う「一つの建築として完成度の高い作品」を見出すべく審査に臨む思いでいる。時代の求める課題に応え、チャレンジングな提案性ある新たな作品を次年度も期待したい。

※建築文化賞の表記は、申し込み時点のものとなります。

設計 & 監理

株式会社 柴 建築設計事務所

水戸市泉町3-1-28 第二中央ビル7階
TEL.029-227-0222 [代]
FAX.029-231-0960



第8回「茨城学生建築展」が開催されました

第8回「茨城学生建築展」が2月15日(火)に審査会が開催され、各賞は左記のとおり決定いたしました。
 なお、今回の参加全作品は2月17日(木)から事務所協会ホームページ上で公開しています。

県内に建築系学科を有する大学、専門学校、高校と連携のもと、優秀な作品を表彰し、エールを贈る目的として始まった「茨城学生建築展」。今回の開催時期も新型コロナウイルス「オミクロン株」の感染拡大の影響があり、7回目と同様参加学生より提出のあった作品データによる審査となった。

昨年11月に募集要項を参加校へ配布、大学3校、専門学校3校、高校3校の合計9校から34点の作品の応募があり、2月15日に県開発公社1階会議室において審査会が開催された。審査委員には笠間市山内観光課長、舟幡建築士事務所協会会長、柴建築士会会長、大山JIA茨城地域会会長、小沼建築センター長代理の足立常務理事5名の審査委員により審査が行われ、笠間市長賞、事務所協会賞など各賞が選出された。感染防止から表彰式も中止となり、表彰状、記念の盾、副賞は担当委員が直接受賞者に届ける形となった。

審査会終了後の翌日からは事務所協会HP内で「第8回茨城学生建築展」参加全作品が公開された。第7回目が昨年2月にHP上で公開されてから1年間に約1200回の閲覧数があり関心の高さがうかがえます。来年2月開催予定の「第9回茨城学生建築展」頃には感染も落ち着き、本来の開催会場である「笠間の家」で開催できることを願いつつ、次回開催に向けて企画、準備していきたいと思えます。



笠間市長賞

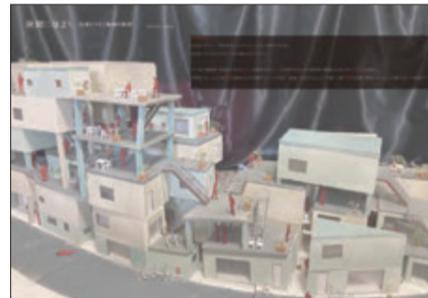
歩いて育む町
笠間



水戸日建工科専門学校
 荒木 義忠さん、大澤 一樹さん

茨城県建築士会賞

狭間に住まう
-旧道をつなぐ
路地の設計-



茨城大学
 村澤 昌樹さん

茨城県建築センター賞

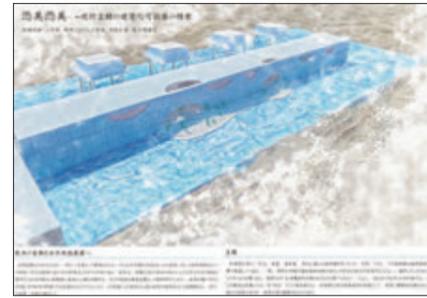
発新地



水戸日建工科専門学校
 佐藤 みなみさん
 茅根 慈乃さん
 鈴木 彩花さん

茨城県建築士事務所協会賞

恐美恐美
~堤防空間の
建築的可能性の
模索~



茨城大学
 佐久間 栄己さん

JIA茨城賞

古民家と
共に生きる



筑波技術大学
 井ノ川 祐貴さん

茨城新聞社賞

お家七変化



水戸工業高等学校
 東ヶ崎 愛生さん

奨励賞

[ミナト防災通信工業(株)]
保護ネコカフェとキャットライフ
 水戸工業高等学校
 佐藤 稜真さん、鈴木 碧人さん

[植田防水工業(株)]
下館駅北口駅前通りに建つ2世帯住宅
 下館工業高等学校
 荒木 孝介さん

[日建学院 水戸校 つくば校]
「~ふらっと camp station~」
 文化デザイナー学院
 永井 富大さん

[総合資格学院]
Three secret base
 つくば工科高等学校
 大久保 優一さん

申込数:34点、大学3校、専門学校3校、高等学校3校

協賛 / (一財)茨城県建築センター
 (一社)茨城県建築士会
 (公社)日本建築家協会関東甲信越支部茨城地域会
 後援 / 笠間市 (株)茨城新聞社
 協賛企業 / 総合資格学院つくば校 日建学院水戸校つくば校
 常陸大理石(株) (株)新日東
 ミナト防災通信工業(株)
 植田防水工業(株) (株)山忠
 (株)フジクリーン茨城 YKKAP(株)
 (株)日立ビルシステム (株)千代田興業
 和知商事(株) センター電機(株) (株)角藤
 (株)安心確認検査機構 草薙木工(株)
 (株)染野製作所 (株)EMI確認検査機構
 (株)エクロール (株)ダイフレックス

木構造デザインの可能性

第1回

山田憲明(山田憲明構造設計事務所)氏に最近の木構造のデザインの可能性について全2回で学びます



山田 憲明
Yamada Noriaki

1973年 東京都青梅市生まれ
1997年 京都大学 工学部建築学科卒業
1997年~2012年 増田建築構造事務所
2012年 山田憲明構造設計事務所を設立
2013年~ 早稲田大学 非常勤講師
2021年~ 東京理科大学 非常勤講師
2022年~ 日本女子大学 非常勤講師
早稲田大学芸術学校 非常勤講師

1. 一般製材の可能性

1 滋賀県林業会館

地域における木材と木造の技術とネットワークを活かして実現された中大規模木造建築である。滋賀県内で良質な木造住宅をつくり続けてきた設計者と施工者を中心としたチームに協力させていただいた。構造材は100%びわ湖材で、普段のたゆまぬ努力により構築された川上から川下までのサプライチェーンをベースに良質な木材を無理なく調達している。デザインビルド方式のコンペが採用されたことで、設計段階でのきめ細かい施工検討や木材調達準備が可能になり、大きな合理化がはかられている。大径化しつつある立木の活用が求められている中、一般材だけでなく、大黒柱やエントランスポーチの梁等に大径材を用いるなど、これからの大径材利用についても配慮されている。

短辺方向スパン5.46mを持つ2階床構造は、対辺から相対する梁材を半ピッチずらして差し込むことでラップさせ、互いの先端位置に直行方向の梁材で繋いだ橢形のレシプロカル構造で、スギ平角の4m定尺材(断面



滋賀県林業会館/2階床を支持するレシプロカル構造

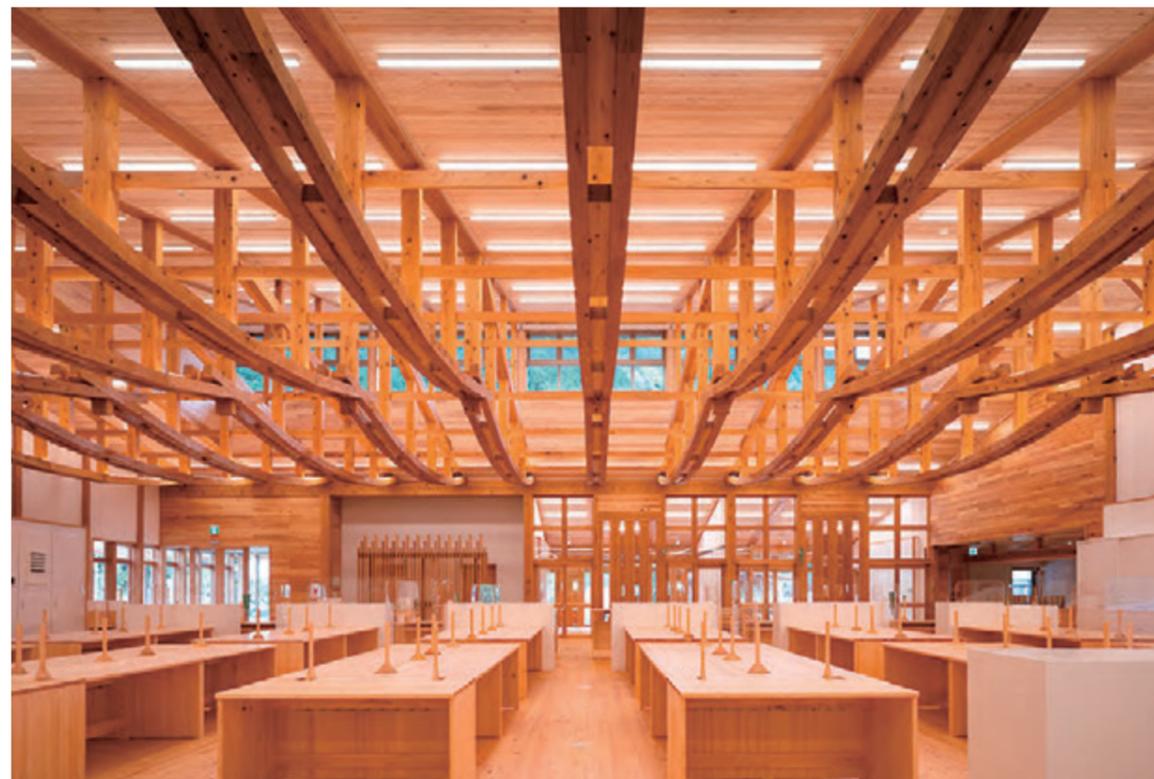
120×300mm)のみで実現している。接合ディテールと加工・組立の工夫により、下から梁受け金物が見えないおさまりとなっている。

スパン7.28mのエントランスポーチの屋根構造は本施設の顔となる部分であるが、同様の橢形のレシプロカル構造であるが、スギ平割の6m定尺材(断面60×270mm)を2材一組のユニットにし、縦方向に配置した束材で繋ぐことによって、ビス止めの簡易な接合と軽やかな美観を実現している。

2階大会議室は、梁間10.92m×桁行9.1mの無柱空間であるが、切妻屋根形状を活かした3ヒンジ式折線アーチ構造を考案し、材長4m以下の一般製材(登梁120×180および75×180ダブル、アーチ材120×120、束材120×120)で梁間方向に架け渡している。登梁の継手は、シングル材をダブル材で挟むことにより、曲げモーメントと軸力を伝達できる簡易なディテールを採用している。



滋賀県林業会館/大会議室の無柱大空間を実現する3ヒンジ式折線アーチ構造



あわくら会館/執務スペースのサスペンション架構(撮影:ヴィブラフォト 浅田美浩)

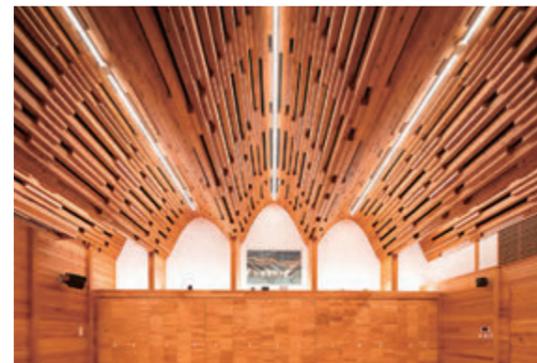
2 あわくら会館

村産一般杉製材の徹底活用を目指した庁舎、図書館などを中心とした公共施設である。延床面積3,473㎡、地上2階建て、七つの棟が南北方向に連なっている。各棟は防火種別(1時間耐火,その他木造)や構造種別(木造,木造+RC造の併用構造)が異なっている(図1)。屋根は2寸5分勾配の切妻形状で、一部が採光のために差し掛け状になっている。

執務スペースの屋根架構では、2寸5分という低勾配の

切妻形状に適した「木造サスペンション」を考案した。山形の上弦材と2連の下弦材の間を束で連結したもので、トラスとサスペンションを組み合わせた構造である。あわくらホールの屋根架構では、構造合理性や意匠性だけでなく音響にも配慮した「波形曲面重ね透かし梁」を考案した。小径木材を縦に重ねてより大きな断面性能を得る重ね梁や重ね透かし梁という手法があるが、これを徐々に位置をずらしながら重ねていくことで、屋根を支える木造架構がシームレスな天井面を創出する。弦材の間に銅木を入れて透かすことで、ヴォールトシェルとしての面内力を効率よく伝達させるとともに、吸音効果を期待させている。

庁舎と図書館は大空間と開放性が需要で、耐力壁の配置スペースが限定されるが、重要度係数1.5倍を割り増した耐震性能が求められた。特に、建物の正面となる北面と百森ひろばの外壁は、高い水平耐力と透過性を兼ね備えた耐力壁が必要であったため、縦格子耐力壁を開発した。三本の間柱(幅12cm×成24cm)の間に銅木を嵌めて構成した縦格子を上下枳材にほぞ差してパネル状にし、軸組にセットして構造用ビスで留め付ける。各間柱と上下枳材は二本のLSBで接合することでモーメント抵抗を期待し、美観と性能を高めている。



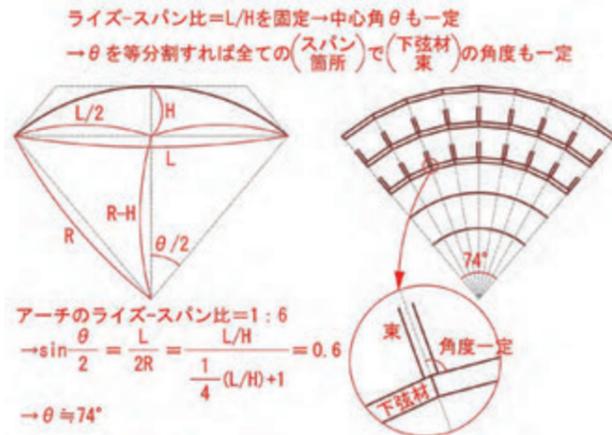
あわくら会館/あわくらホールの波形曲面重ね透かし梁(撮影:ヴィブラフォト 浅田美浩)

3 昭和電工(大分県立)武道スポーツセンター

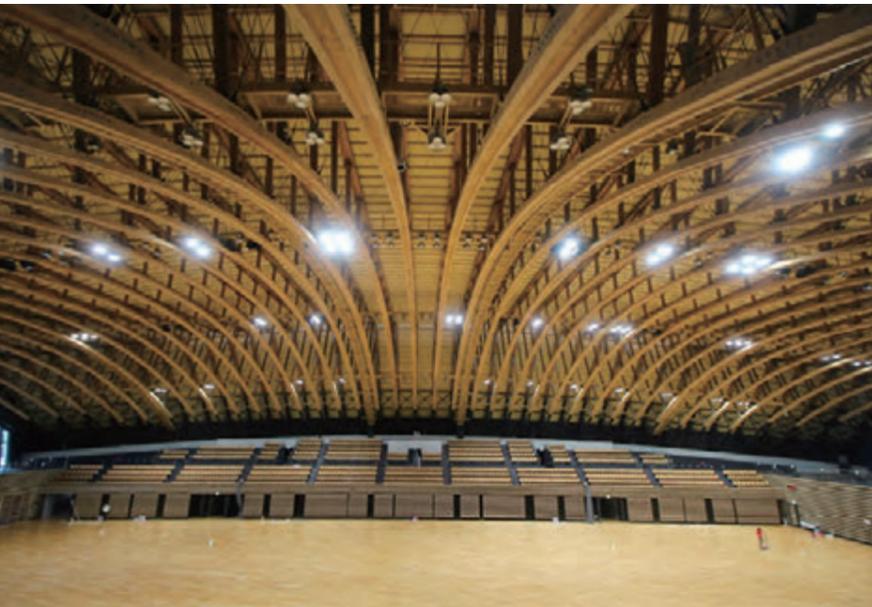
大分県立武道スポーツセンターの屋根構造は、大分県産スギの一般流通製材を徹底的に活用している。木材供給者であった大分県木材協同組合連合会との長期間に渡る対話や専門家からの多くの知見を経て、地域木材の性能確保と無駄なく使い切ることを鑑み、断面120mm×240mm、材長を2~4mの大分県産スギ製材を主体にして屋根構造をつくっている。更に大分県産スギ材のヤング出現分布や乾燥収縮の影響に備え、木材仕様をヤング率と含水率の組み合わせで計4種類に区分し、適材適所に使い分けている。

主競技場の広さ約70m×100mもの無柱大空間に対して、この平角製材で屋根を架け渡すために、力学、施工での合理性を持たせるべく形態とディテールを追求したアーチトラス架構としている。アーチ形状となる下弦材を円弧にそった折線にし、各折点間の中心角を一定にすることでスパンの異なる各通りの全箇所の接合部のカット角度を半径方向に統一するとともに、東の角度と位置もカット面と揃えている。更に、丸鋼プレースの角度変化に対応できるように

端部の羽子板を1本の高張力ボルトで接合し、このボルトから弦材にそって配置したフラットバーを介して支圧プレートや中ボルトによって伝達させることで接合部ディテールを同一形状にしている。これに加え、木材木口の面タッチによる応力伝達によってボルトや金物を格段に減らしている。



昭和電工/(大分県立)武道スポーツセンター
アーチの幾何学と接合ディテールの統一



昭和電工/(大分県立)武道スポーツセンター 主競技場の内観



令和3年度スキルアップセミナー
「木構造デザインの可能性」を開催しました
日時/令和4年2月19日(土)
会場/茨城県開発公社 4階大会議室
主催/研修委員会
講師/山田憲明氏
(株式会社 山田憲明構造設計事務所)

株式会社 山田憲明構造設計事務所
〒141-0021 東京都品川区上大崎1-5-63
エクセレント白金台202
Tel 03-6277-1375

HAN

設計・監理

(有)汎連合設計



水戸市立石川幼稚園

〒310-0852 茨城県水戸市笠原町 1214-3 斉藤ビル2F
TEL 029-244-5472 FAX 029-244-5482
E-mail han-sekkei@msj.biglobe.ne.jp



株式会社河野正博建築設計事務所
〒305-0817 つくば市研究学園5丁目6-6 D12-510
TEL.029-861-8847 FAX.029-861-8848
E-mail info@kono-arc.com Web https://www.kono-arc.com

理事会
だより

令和4年7月27日(水)

- 各委員会活動状況報告
- 日事連会議等報告
- 会員増強について
- その他

令和4年9月30日(金)

- 第44回建築士事務所全国大会(熊本)

令和4年10月27日(木)

- 各委員会活動状況報告
- 日事連会議等報告
- 収支仮決算について
- 令和4年度事業計画・予算案について
- 会員増強について
- その他

令和4年12月2日(金)

- 各委員会活動状況報告
- 日事連会議等報告
- 令和3年度事業報告・収支決算について
- 監査報告
- 令和4年度事業計画・予算案について
- 令和4年度通常総会について
- 会員増強について
- 新入会員の承認について
- その他

委員会
だより

【総務委員会】 委員長 飯島 洋省

茨城建築文化賞は、県内において、地域の周辺環境に調和し、かつ、景観上及び機能的に優れている建築物等を表彰し、文化の香り高い魅力あるまちづくりに対する意識の高揚を図ることを目的として実施しています。第35回茨城県建築文化賞の応募総数は、40作品でした。コロナ禍、案件が少ないと思われる中、多くの会員の皆様より応募いただき、誠にありがとうございました。作品の内訳は、大規模作品が12作品、小規模作品が12作品、住宅作品が14作品、リフォーム作品が2作品となりました。3月25日に6名の審査委員により書類と写真による一次審査を行い、上位5作品が選ばれ、4月23日に各作品の現地を視察したのち、二次審査を行いました。結果は新聞紙上に取り上げられ、受賞者の表彰式を先日の通常総会にて執り行いました。なお受賞作品の詳細は今号に掲載されていますので、ご覧ください。上位5作品全ての設計者が、県外、非会員であったのは残念ではありました。来年も今年以上の、より多くの力作が提出されますよう、皆様のご協力をお願い致します。

【企画委員会】 委員長 埴 万治

コロナのせいにはもうしたくありません。皆さんもそんな思い、あるいは、決意なのではないでしょうか。しかし、なかなか終わらない。見えない感染症の怖さです…。今年度の委員会活動をご紹介します。

1.住宅相談

住宅相談は茨城県から、建築センターを通して委託される事業です。例年通り毎月第1・第3、土曜日10時～16時に水戸とつくばの建築センター内で行っています。今年度は企画委員会員とリフォームアドバイザーのメンバーに協力を仰ぎ相談会を実施いたします。相談者の思いを真摯に受け止め、放つ言葉が彼らの救いになり、希望になります。地道な活動ではありますが、引き続き皆様のご協力をお願いいたします。

2.建築家育成事業

官公庁や民間機関に設計の課題を提供して頂き、その参加を協

会員に募集して、優秀な作品を決定する「いばらきの若手建築家育成の為のプロポーザル」を行っています。委員会の目玉と言える事業ですが残念ながら昨年、一昨年と実施に至っていません。各自治体に積極的に働きかけを行っていますが、まだご案件がないのが実状です。今後は協会執行部の皆様にもご協力をお願いして何とか案件を掘り起こし、企画いたします。その際はどうぞ奮って御参加、御協力をお願い致します。

その他長期的計画の立案・賛助会員との意見交換会などの事業も適宜進めてまいります。

【会員委員会】 委員長 渡辺 昌弘

1.会員増強

会員増強に関し会員の皆様から日頃ご協力をいただき誠にありがとうございます。昨年度同様、ある程度の人数を維持しておりますが、残念ながら高齢化等による退会者が増加しており、全体では減少の傾向にあります。会員増強は言わば会員委員会の使命であります。出来れば若い会員の増強にご協力の程よろしく願いいたします。

2.賛助会総会及び建築士会との合同納涼会

まだまだ新型コロナウイルスの感染終息が見通せない中、本年度も開催を中止させていただきます。尚、賛助会役員については、賛助会において役員改選を行い、後程文書にて通知しますのでよろしくお願い致します。

3.会員親睦ゴルフ大会

富士ントリー笠間クラブで、例年のように開催を予定しておりますが、一昨年度・昨年度と、新型コロナウイルスの感染拡大を受け、開催を中止させていただきました。今年度は、新型コロナウイルスの感染状況を勘案し、大会開催仕様を十分検討の上10月に開催を予定しております。何卒ご理解の程、宜しくお願いいたします。

4.年末懇親会

昨年度は12月に、水戸プラザホテルにて開催いたしました。本年度も、新型コロナウイルスの影響を考慮したうえで、総合的な判断のもと12月開催を予定しております。開催日時仕様等は後日会員の皆様に改めてお知らせいたします。

5.会員名簿作成

令和4年度、会員名簿の作成を現在進めているところです。10月以降に、各委員の皆様配布する予定です。つきましては、名簿掲載における広告のご協力をよろしくお願い致します。

【広報委員会】 委員長 山田 一博

広報委員会は、建築設計監理業務の果たす社会的役割の啓蒙宣伝を軸に、会報誌の編集発行を行うと同時に、協会ホームページ(HP)の有効活用の検討を行っている委員会です。会員の皆様には、広報活動に日頃よりご理解ご協力頂きありがとうございます。

1.会報「茨城」の発行

●会報「茨城」76号 今号から、会報誌を左から開く横書きとし、オールカラーに刷新してみました。主な内容は、通常総会、学生建築展、茨城文化賞の報告記事を掲載しています。会報誌は、記録としての発行物というスタンスではあるのですが、会員の皆様にも少しも有益なコンテンツをお届けしたいという試みから先日のセミナー

でお招きした山田憲明氏に「木構造デザインの可能性」と題した記事を寄稿頂きました。

●会報「茨城」77号 内容は、年末懇親会、首長インタビュー等を掲載し、令和5年1月の発行を予定しています。

2.建築士事務所キャンペーン

秋開催予定の「建設フェスタ」会場にて、住宅相談会等一般者向けのキャンペーン(広報活動)を行う予定です。

3.協会ホームページ

会報「茨城」と共に協会の情報を発信しているホームページ(HP)です。講習会や時事情報など、会員及び会員以外の建築士事務所にも有益な情報を発信しています。

一般者向けに「建築士を探そう」のページもあります。会員でログインすれば自分自身で宣伝内容を更新できる仕組みになっています。ぜひご利用ください。また、少しでも使いやすいホームページ(HP)となっていくことを課題としています。ご意見もお待ちしておりますので、今後とも宜しくお願いいたします。

【業務委員会】 委員長 稲沼 修二

業務委員会は、建築士事務所の経営調査、経営指針の作成、近代化及び業務報酬基準の作成と普及啓蒙運動並びに特定建築物定期報告事業等の推進、設計・工法開発等技術に関する調査、情報の収集等に関する活動を行っています。

1.適正な報酬額による設計業務契約

毎年発注機関に、要望書を提出し、「国土交通省告示98号」に基づいた入札価格の設定及び「最低制限価格」の設定・引き上げ、もしくは「低入札価格調査基準」を設定していただけるよう、要望しています。今年度も会員の皆様のご協力をお願いします。建築物設計・工事監理業務の設計者選定に際して、価格の評価のみによる入札が行われている現状においては、過度な価格競争となり、建築設計業務及び工事監理業務の質を保つことが困難となっています。適正な競争となるよう、会員の皆様にも、ご協力お願いします。

2.各種業務報酬算定基準

業務料積算を行う際に参考にしていただけるよう、各種業務報酬算定基準を作成し、協会HPに掲載しています、ご利用ください。本年度は、解体設計業務報酬算定基準の改定及び耐力度調査業務報酬算定基準の改定を予定しています。

3.講習会等

業務委員会では、建築設計業務に関連した内容の講習会を開催しています。開催の際は感染予防に配慮の上ご参加ください、よろしく申し上げます。

【研修委員会】 委員長 本澤 幸一

研修委員会は会員及び会員事務所スタッフの資質向上に寄与するための研修事業や建築関連法令に基づく講習会提供を中心に事業を行っています。主な事業は下記の通りですが、本年度も

コロナウイルス感染拡大が危惧されるため講習事業以外は状況を見ての開催となります。

1.建築士定期講習

建築士法に定められた3年に一度の定期講習です。本年度を小規模講習会として土浦市、筑西市で各1回。水戸で2回の開催を予定しております。

2.管理建築士講習

建築士法に定められた建築士事務所の管理建築士登録のための講習会です。毎年1回の実施です。

3.茨城県知事指定講習

建築士事務所登録時必要な茨城県知事指定講習です。例年、土浦市と水戸市での開催ですが本年度もコロナウイルス感染予防を取るため水戸市での2回実施とさせていただきます。

4.明日を創る建築講座

毎年、「茨城建築文化賞」の受賞作品を設計者に解説頂く講座です。本年度の受賞作品が先日の総会で表彰されましたので例年通り8月開催予定です。

5.建築視察研修

国内外複数の建築作品を見学する視察研修事業です。本年度の実施はコロナウイルス感染状況を見ながら計画を進めたいと思いますが、事業自体を中止し、別事業に切り替える場合もあります。

6.スキルアップセミナー

今、注目を集めている若手建築家を招いて自身の作品や建築についての講演を頂く事業です。毎年、募集定員を超える参加を頂いている事業です。こちらもコロナウイルス感染状況を見ながら計画を進めたいと思います。

なお、講習会実施に際しては日事連の定めた「新型コロナウイルス感染防止に関するガイドライン」にそって実施する予定です。参加者の皆様にはご不便をお掛けしますが感染防止にご協力をお願いいたします。

【景観まちづくり委員会】 委員長 浅野 祐一郎

新型コロナウイルス「オミクロン株」禍の中、茨城学生建築展第8回目2月15日に無事開催できました。昨年に続けてデータ化された建築作品による審査方式となりましたが審査終了後協会HP上で公開されました。前回の第7回は公開されてから約1年間で約1200回の閲覧アクセスがありました。多くの人が閲覧していることがわかります。「笠間の家」での作品展示は数日間を訪れる人は多くはありません。展示された力作を多くの人に見ていただきたいのですが、学校関係者にとどまってしまうのは残念です。次回開催頃にはコロナ感染も落ち着き、「笠間の家」での開催とHP上での公開が同時となればより多くの人に見てもらえるかなと思います。今後の活動としては「いばらき空家リフォーム・リノベーション事例集」の追加作成、水戸商工会議所主催「水戸まちなか空店舗見学ツアー」へのアドバイザー派遣等継続事業の他、本来の目的である「景観整備機構」としての役目の見直し等まずはできることから始めたいと思います。



学生建築展審査会

New member introduction

新会員紹介 2022.July



正会員

株式会社 北村建物調査診断事務所
北村 廣美
〒311-4141
水戸市赤塚1丁目1963番地の18
tel.029-254-2666



賛助会員

秩父ケミカル株式会社
永田 耕一
〒101-0021
東京都千代田区外神田5丁目2番3号
tel.03-3832-1617

随時、新会員を募集しております。皆さまよろしくお願いたします。

Editors Voice

編集後記 2022.July

4年を経て広報委員会に戻ってきました。本号からオールカラーの誌面になりますが、和田前委員長、山田委員長ほか委員会メンバーの尽力によるものです。誌面の本文を縦書きから横書きにしたことや、新しい企画を加えたことなど様々な工夫が盛り込まれています。もちろん建築文化賞など会の主要事業も掲載しています。

次号以降も同様のスタイルを継続する予定ですが、会員や社会にとって有益な情報を多く掲載することを重視し、求められている情報を集められるよう不断の努力を続けていきたいと思えます。ご要望等ありましたら遠慮なくお知らせください。(大山)

日帰りで奥会津を巡ってきました。重要伝統的建造物群保存地区でもある“前沢曲谷集落”を散策し、山肌の残

雪と満開の桜に彩られた檜枝岐では、村のシンボル“六地藏”に出迎えられ、奈良の正倉院と同様の建築様式とされる“せいろ造り板倉”を見学。昼は会津の郷土食“山人料理”「裁ちそば」と「はっとう」で腹を満たし、雪代でかなり増水していましたが、午後は今年初の溪流釣りも少々。自宅への土産用に岩魚を数匹キープした後、源泉掛け流しの“燗の湯”で温泉も堪能。慌ただし一日でしたが、春の奥会津を満喫し、大自然に仕事への活力をもらい、帰路につきました。(富田)

今年度から委員長を仰せつかった山田です。新たに大山常務を迎え、和田前委員長には理事として在籍頂き、より良い会報誌、より良いHPの運用等、少しでも会員のみなさまにお役に立てるような広報活動を行って参ります。今

号から、一つの試みとしてオールカラーの会報誌となりました。また、なるべく有益なコンテンツをとのことからスキルアップセミナーで講演頂いた構造設計家の山田憲明氏に、「木構造デザインの可能性」について寄稿頂きました。シリーズで2回に分けた記事とする予定です。引き続きご指導のほど宜しくお願い申し上げます。(山田)

今年度から山田広報委員長のもとで副委員長を務めさせていただき事となりました茂垣です。より多くの会員の皆さまのお声に耳を傾けながら、より良い会報誌づくりやホームページ運営に励んでいきたいと考えております。温かいご指導とご協力を何卒よろしくお願い申し上げます。(茂垣)



株式会社 若柳建築事務所

〒305-0868 茨城県つくば市台町1丁目8-1
Tel:029(886)8034 Fax:029(886)8035
URL: http://wakayanagi.co.jp

建築設計・監理 耐震補強 特殊建築物定期報告

株式会社 相澤建築設計事務所

代表取締役 相澤 晴夫

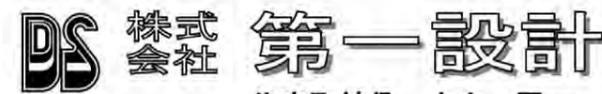
〒300-1256 茨城県つくば市森の里1169-2
TEL: 029-876-0617 FAX: 029-876-0679
E-mail: info@aizawa-arc.co.jp
URL: http://aizawa-sekkei.com/



Architectural Design



写真: (ひたちなかSS)



代表取締役 大内 賢一

【本社】〒312-0024 ひたちなか市勝倉 2671-1
【大平事務所】〒312-0023 ひたちなか市大平 3-5-3
TEL: 029-274-3056 FAX: 029-274-4604 E-MAIL: daiichi@intio.or.jp
URL: http://www.daiichi-design.jp

今日も一日安全作業
土木建築鉄筋工業一式



株式会社 大平組
代表取締役 大平 智彦

〒311-4144 茨城県水戸市開江町1590-4 電話：029-252-1772 F A X：029-254-2888
URL：http://www.oohiragumi.jp E-mail：info@oohiragumi.jp
2022年度 経営スローガン
一致団結 一人はみんなのために、みんなは一人のために
一般社団法人茨城県建築士事務所協会認定 茨城県優良鉄筋施工業者

セメント生コン販売代理店、パイル販売代理店



常陸大理石株式会社
代表取締役 梶山治夫

本社 〒313-0042 茨城県常陸太田市磯部町132 ☎0294-72-1234 (代)
東京営業所 〒113-0034 東京都文京区湯島1-9-14 ☎03-3813-3951 (代)
http://www.stone.co.jp/

< 防災・通信・電気・セキュリティー >



ミナト防災通信工業株式会社
~ MINATO BOUSAI CO.LTD SINCE 1974 ~
www.minatobousai.co.jp



MATSUMOTO-SOUKEN
株式会社 松本総建
— 特定建設業 —
代表取締役会長 松本 一幸
茨城県知事許可(特-29)第21680号

関東中央支店 〒311-0106 茨城県那珂市杉410-2
TEL 029-295-7715(代)
FAX 029-295-6548

本社 〒311-4152 茨城県水戸市河和田2-9-5
第一機材センター 〒311-0106 茨城県那珂市杉407-1
第二機材センター 〒311-0133 茨城県那珂市鴻巣白旗1195-1

《 営業内容 》 ■ 枠組足場工事 ■ 次世代式先行手摺足場工事 ■ 鉄骨建方工事
■ 建築土工事 ■ 足場提案企画




特別養護老人ホーム みどりの郷福原



MITSUO YOKOSUKA
ARCHITECTURAL CO., LTD.
(株)横須賀満夫建築設計事務所

事務所 / 茨城県水戸市南町2-1-18 アーキビル 〒310-0021
TEL.029(225)4353 FAX.029(225)1794
東京支店 / 東京都杉並区梅里1-3-12 テラスキョウ101号室 〒166-0011
TEL-FAX.03(5378)6617
つくば営業所 / つくば市高見原3-1-23 アメニティー高見原202 〒300-1252
TEL.029(896)3978 FAX.029(896)3968
URL http://www.design-yokosuka.co.jp E-mail yokosuka-mitsuo@bea.hi-ho.ne.jp

金属屋根設計製造施工 / シート防水施工



株式会社 萬道総業
代表取締役 社長 万道 博志
https://www.mandou.co.jp

本社 〒314-0031 茨城県鹿嶋市宮中1丁目8番6号
TEL 0299-83-1866 FAX 0299-83-1861
東京支店 〒103-0024 東京都中央区日本橋小舟町9-3
日本橋相互ビル501
TEL 03-6661-2956 FAX 03-6661-2957

営業品目

■パイル製品
高支持工法に対応 Fc=105N/mm2 Fc=123N/mm2シリーズ杭
(PHC ST SC PRC 掘頭杭 節杭 ※厚型・特厚型も対応)
PHC ST SC DAM BF(摩擦杭)その他

■認定工法
Hybridニーディング工法(施工品管理強化高支持力工法 α=336~880) ●特認工法
Hybridニーディング工法II(施工品管理強化高支持力工法 α=350)
SUPERニーディング工法(さらに支持力が大幅UP! α=600)
SUPERDANK工法(中掘) α=425
ニーディング工法 DANK工法(中掘)BFK工法
Lev-Pile構法

豊かな技術で
未来を創造する



三谷セキサン株式会社
茨城営業所 〒310-0062 茨城県水戸市大町3-1-26
TEL.029-221-7768 FAX.029-221-7749
※設計のお手伝いもいたします。(是非お試しください)

http://www.m-sekisan.co.jp/



会報 茨城
IBARAKI

一般社団法人 茨城県建築士事務所協会

会報[茨城] 2022年7月 第76号

発行 ● 令和4年7月1日(年2回発行)

発行部数 ● 800部

発行者 ● 一般社団法人 茨城県建築士事務所協会 会長 舟幡 健

〒310-0852 茨城県水戸市笠原町978-30 建築会館2階

TEL.029-305-7771 FAX.029-305-7791

ホームページ <https://www.i-jk.org> Eメール ikyokai@i-jk.org

制作 ● (株)メディアクロス水戸

編集メンバー

小室 晶 大山 早嗣 富田 清一 和田 淳一
山田 一博 茂垣 直樹 鈴木 啓之 菊池 洋次
福田 明良 石坂 健一 北村 廣美



一般社団法人 茨城県建築士事務所協会
<https://www.i-jk.org>